

複合動詞提示ツール ユーザーマニュアル

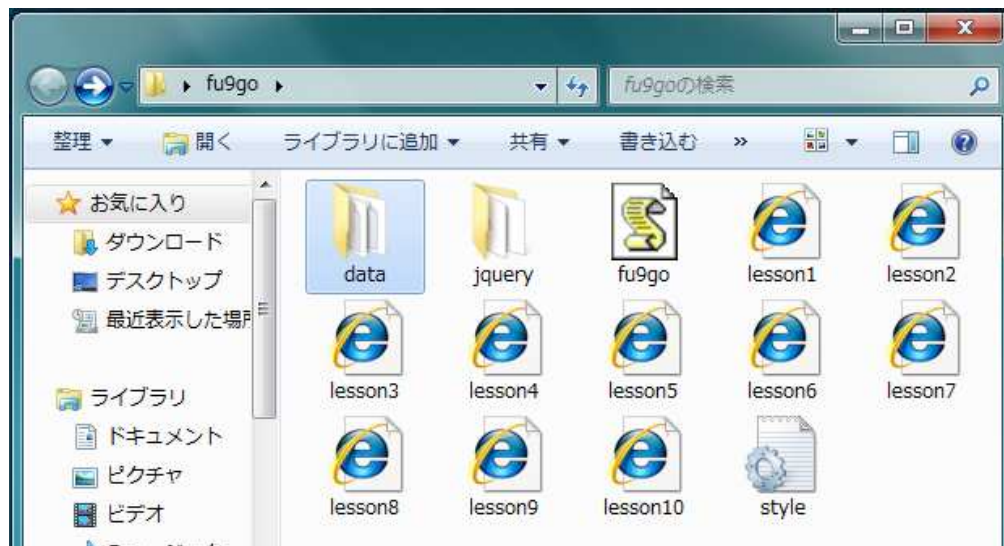
Ver. 1.0

教材の起動

1) インターネットでアクセスする場合

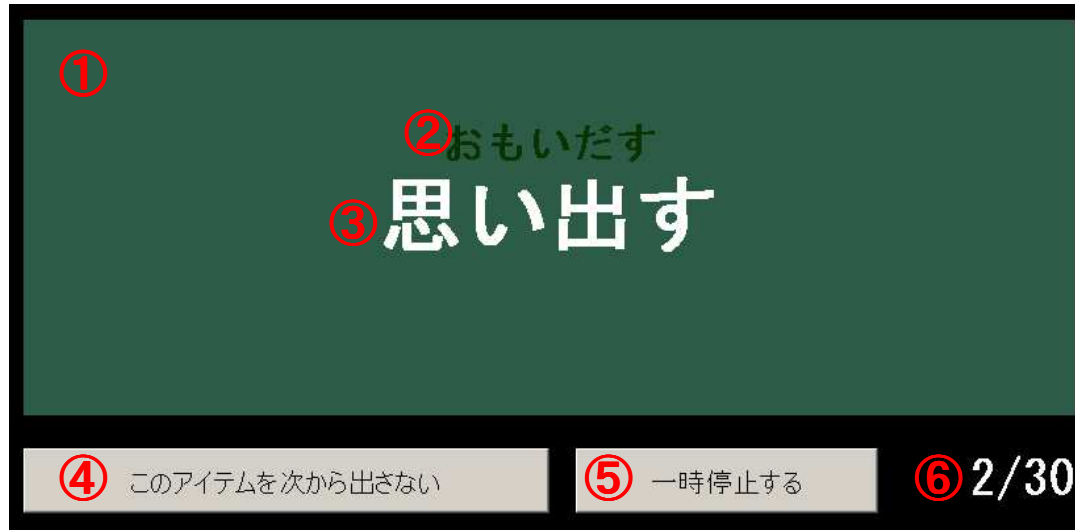
ブラウザで教材のURLを入力します。

2) 教材ファイルを自分のPCにダウンロードした場合



lesson1という名前のファイルをダブルクリックすると、Lesson1の教材が開始されます。
lesson2以降のファイルをダブルクリックすることで、Lesson2以降の教材が開始されます。

インターフェースの説明



①アイテム表示ボード全体
ボードをクリックすると回転して次のアイテムが表示されます。ボードをクリックしなくとも、一定の時間(初期設定では5秒)経つと自動的にボードが回転します。

②表示エリア1(上段)
読み仮名が表示されます

③表示エリア2(下段)
複合動詞が表示されます

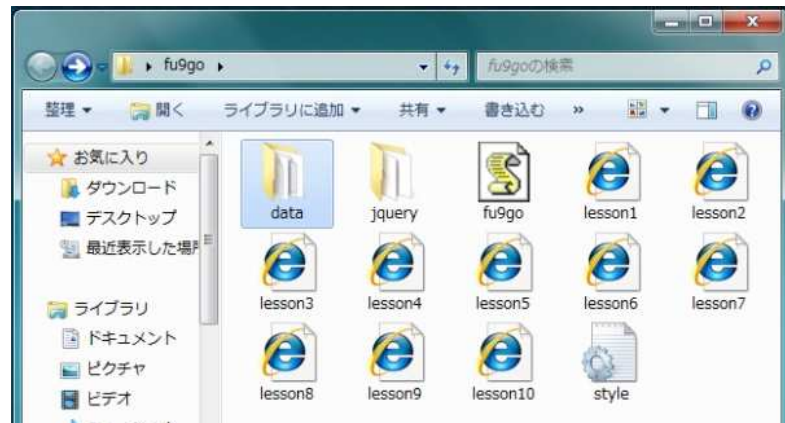
④表示アイテムを削除するボタン
ここをクリックすることで、ボードに表示されているアイテムが削除され、次回から表示されなくなります。

⑤一時停止ボタン

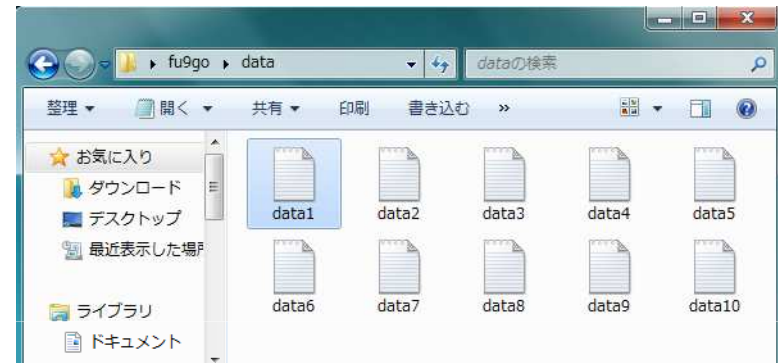
⑥アイテム数カウンター
総アイテム数と現在表示されているアイテムの番号が表示されます。

教材の表示アイテムの変更

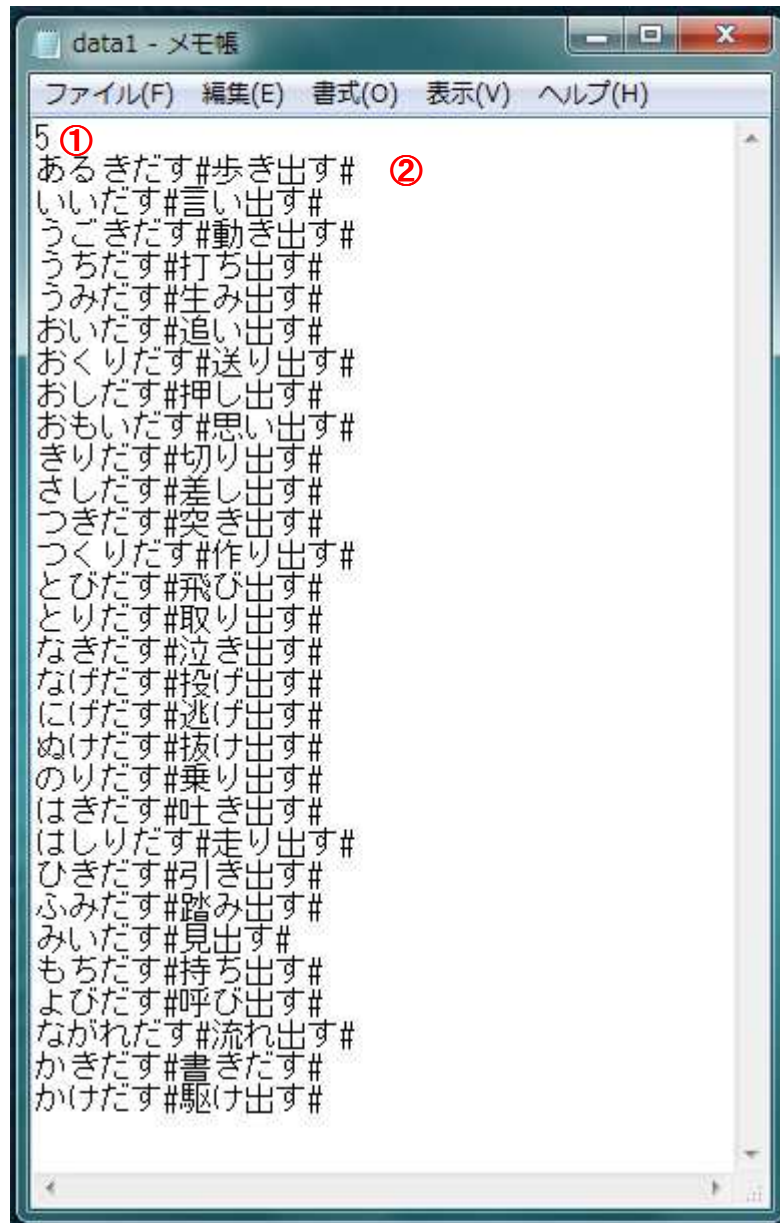
教材ファイルを自分のPCにダウンロードして使用する場合に表示アイテムの変更が可能です。



「data」フォルダを開きます。



Lesson1の表示データはdata1というファイルです。編集したいファイルを開きます。



① 1行目

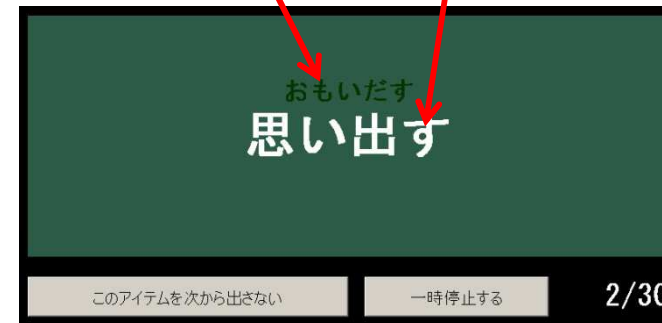
半角数字が記入されています。これは、ボードが自動回転する間隔(秒)です。ここの数字を変えることで、ボードの自動回転する間隔を調整できます。

② 2行目以降

ボードに提示されるアイテムが記述されています。1行につき1ボードに表示されるアイテムを記述し、以下のように、読み仮名と複合動詞を半角#で区切る

記述

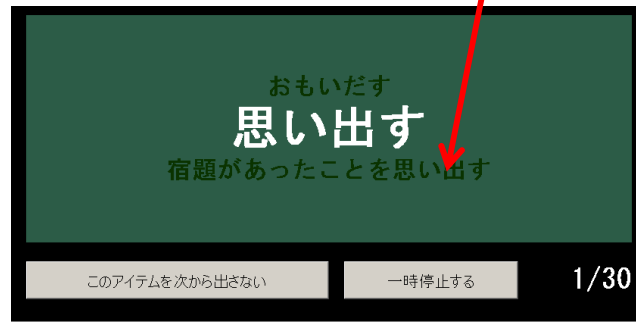
おもいだす#思い出す#



教材中の表示

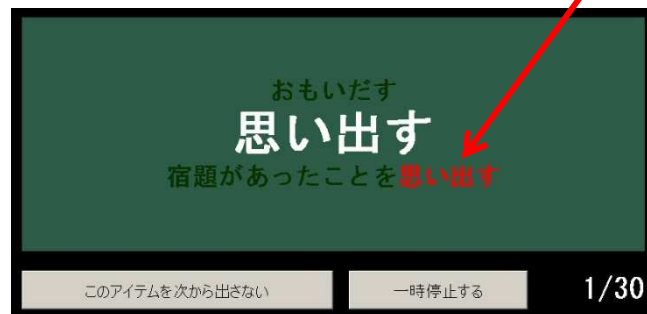
教材の表示アイテムの変更(応用)

おもいだす#思い出す#宿題があったことを思い出す



2つ目の#の後に記入した文字は最下段に表示される

おもいだす#思い出す#宿題があったことを<<思い出す>>



半角の<< >>で囲んだ文字列は、赤で表示されます。

教材の表示アイテムの変更:ファイル保存の際の注意点



文字コードは「UTF-8」を選択する